

さて、全部書けばきりがありません。最後に子どもたちが感心だったことをお伝えします。

まず、動物に触ることを恐らなかつたこと(危険な動物は最初の日にレクチャーいたしました)。それからホームシックになった子がいなかったことです。



磯で転んだ子もいませんでした。海岸までの道も苦もなく歩きました。低学年から高学年まで、実験教室の子はほんとにしっかりしていると思います。生活面でも、はじめのうちこそ低学年男子が興奮していましたが、2日目からはそんなこともありませんでした。自発的に食事の配膳と片付けを手伝ってくれる女子の姿を見て、男子も片付けを手伝いはじめます。そんな様子を見ることができるのも合宿のいいところですね。

(麻布科学実験教室 専門講師 加藤たくむ)



ガリレオ賞

光と水の科学
氏名 いしだともきくん (1年)



1年 いしだともきくん
くうきをあたためたり、ひやしたりして実験をしました。くうきがちいさくなることで、きれいなふんすいできました！
あべ

光と水の科学
氏名 こおりまふうみくん (1年)



1年 はせがわりいちくん
こおりとアルコールとみずのおもさくらべをしました。アルコールがいちばんかるかったですね。よいまとめがかけました！
ふるかわ

水と氷の科学
氏名 本庄 光希 (1年)



1年 うえむらみどうくん
くうきはあたためるとふくらんで、ひやすとちぢみました。きょうのじっけんがよくかけています。すばらしい。
きもと

せっけん
氏名 たかはしけん (2年)



2年 高橋 健くん
できあがったせっけんできりあわができました。できたものが、せっけんだということがたしかめられました。
横倉

光と水の科学
氏名 柳川 陸 (3年)



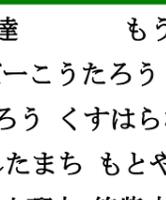
3年 柳川 陸くん
鏡に反射したものが左右反対になることが実感できましたね。よいまとめが書けるようになりました。次からは、バランスよく書けるように工夫してみましょう。
古川

水と水蒸気の科学
氏名 平野 雄斗 (4年)



4年 石塚 未来さん
沸騰するまでの温度変化を調べました。必要なことが分かりやすく書けています。予想もしっかり書いて、レベルアップしましょう。
木本

水と水蒸気の科学
氏名 山本 香澄 (5年)



4年 平野 雄斗くん
とてもよいまとめが書けています。見やすさも考えて書けるとさらにいいですね。ガリレオマスターを目指して、これからもがんばろう。
木本

5年 山本 香澄さん
とても難しい内容の実験でしたが、がんばってまとめました。これからは、時間内によりまとめが書けるようにがんばりましょう。
横倉

水と水蒸気の科学
氏名 石塚 未来 (4年)



光と水の科学
氏名 山本 香澄 (5年)



最終候補まで残った友達 もうすこしだぞ！がんばれ！

1年生 あれくさんだーこうたろう おしうみりひと おちあいはる かじわらたいせい きうちかいと きんじょうそういちろう くすはらなこ こうもとさしゅう たなかきの なりきよせいじ にほきよぞう ひらのこうき みやしたまち もとやなぎあやか もりひかり やながわそうし やまもとかねえ

2年生 イ サシャ 高山瑠大 筑紫丈太郎 南春霞 若林隆太郎 3年生 石渡清介 柿沼有希 楠原莉碧 小島由也 近藤勇学 島岡恵理 鷹橋凜太郎 中坪美友 野村佳恵 南泰山 村上祥都 森脇悠奈 ルースブライアン

4年生 飯ヶ谷洵 井竿みやび 太田光咲 桐井希海 茅野明秀 毛利名菜 5年生 赤塚大三郎 荒川明 井脇理彩 宮下駿 森孝太郎 山本麻希 6年生 岡田知弥 桐井鍛 杉山健真 柳衛紘子

今年もやります！『こども鉱物天国』

国際的な鉱物研究者である加藤先生ご指導の下、鉱物標本の観察会を行います。100種以上の貴重な鉱物を、実際に手に取り観察できるチャンスです。教室生以外の方も参加できますので、ご家族・お友だちをお誘いの上、ぜひご来場ください！鉱物のお土産も用意してありますよ！

- 場所 麻布科学実験教室
- 日時 2015年11月29日(日) 午後1:00 ~ 午後4:00 (時間内の出入り自由)
- 指導講師 加藤 昭先生 (国立科学博物館名誉研究員・麻布科学実験教室講師)
- 参加費 教室生および、そのお友だちは無料。その他、一般は1家族500円。 *詳しくはチラシにて



科学はいつも身の回りに！ 幼児サイエンスクラス



だんだんと日も短くなり、いよいよ肌寒い季節がやってきました。季節が移り変わるとき、幼児にとっては「秋になると葉っぱはどうして色が変わるの?」「どうして冬になると寒くなるの?」と不思議に思うかもしれません。あまり意識しないかもしれませんが、季節以外にも私たちの身の回りには科学(サイエンス)が溢れています。様々な乗り物や電化製品はもちろん、私たちが生きているということすら科学に結びつきます。

幼児サイエンスクラスでも、科学を身近に感じてもらえるように実験カリキュラムを考えています。例えば、「コマ」の実験でしたら自転車が倒れないで走れる理由の「ジャイロ効果」について、「光と影」ではお昼と夕方では違う影の長さについて考えられるようにという意図があります。しかし、教室での実験は1時間という限られた時間です。子どもが、実際の生活で気づいたり疑問に思ったりした時、我々スタッフはその場で説明や共感してあげることができません。そのようなこともあり、保護者の皆さまに今日の実験を説明させていただいております。

幼児の「なんで?」「どうして?」は、思考が成長する大きなチャンスです。我々も、子どもが様々な物事に興味や疑問を持つように楽しい実験を考えてまいりますので、保護者の皆さまも子どもの疑問を大切に拾って答えてあげて欲しいと思います。

幼児サイエンスクラス 古川貴大

ごとうけい くん

さかもとえいき くん

おぐらけいこ さん

まえかわかのはる くん

まつもとさん さん

それゆけ! モナンくん

『幼児部年少組クラス』はじまります!

- 対象：現在幼稚園年少組 (H23.4月～H24.3月生まれ)
- 授業日程：月1回 50分授業 土曜日 13:00～13:50
- 第1回：10/17(土) 13:00～

参加をご希望の方は、教室にご連絡ください。

事務・教務連絡コーナー

● 小学部の皆さまへ。11月3日(火)～7日(土)は、授業がお休みとなります。(ただし、7日の幼児クラスは授業があります。)お間違いのないよう、お願いいたします。

(受付：火曜日～土曜日 午前11時～午後6時)

(株)創造教育センター麻布科学実験教室 〒106-0041 港区麻布台1-4-3

TEL 03-3585-7003 メールアドレス souzou@azabu-cec.com

ホームページ <http://www.azabu-cec.com>

Facebook は右の QR コードから *無断での転載を禁ず



No.1233

麻布科学実験教室通信 ガリレオ

2015年
10月6日
発行

『海・合宿』その成果と、そこから見えてきたもの

麻布科学実験教室には、通常授業以外の時に指導いただいている専門講師の先生方がいます。
《鉱物》の加藤昭先生、《光学》の高和宏行先生、《昆虫・水生生物》の相川健志先生、《宇宙物理》の正田亜八香先生、そして《野鳥・貝・海の生物》の加藤たくむ先生です。加藤たくむ先生から海・合宿の報告をしていただきました。

今年の『海・合宿』は、昨年より少し北に場所を移して「三戸浜海岸」で貝拾い、「黒崎の鼻」で磯の生物の観察を行いました。

初日は、子どもたちの間で小ブームになっている貝拾いです。宿泊所から歩くこと10分。海岸は一面の貝がらでした。こんなことは滅多にありません。みんな一斉に駆け出しました。

大量です。全員の力を合わせれば、なんと100種ほどにもなるかと思えます。拾った貝は、すぐに潮抜きと乾燥をして、最後の日に標本にしました。



2日目は磯の観察。黒崎は小さな磯ですが、生きたマダコを観察できます。タコは変身が巧みですが、目が“磯モード”になった子どもたちには簡単に見破られてしまいました。

低学年の男子はヒライソガニとヤドカリが大好きです。ところが磯で普通にみられるヤドカリは3種類あるのです。これらを全部見ようとすると大変です。「ヤドカリにも種類がある」ことがよくわかりました。

子どもたちが各班に分かれて採集してきた動物を集めてみると、ヒトデ、クモヒトデ、ナマコ、ウニがそろいました。一見これらは全く似ておりませんが、実は海でしか見られない「棘皮(きょくひ)動物」という仲間なのです。試しに水槽に入れると、みな吸盤(管足)を伸ばし始めます。ナマコやウニの吸盤も、ヒトデと同じ5対の列であるとわかりました。これらの動物が近い親戚であることは誰にしてみても意外なことです。



さらにヒトデがひっくり返るとどうなるのか、ヤツデヒトデで実験してみました。ヒトデは吸盤を盛んに伸ばし、腕と体を捻って、見事に裏返りました。触れば硬いヒトデの体が柔軟に動くのですから、子どもたちは目を見張っていました。ヒトデくんには4回ほど体操してもらいました。